



特別養護老人ホームきずな
介護士 松本 知也



私が介護の職に就きたいと考え始めたのは、高校のボランティアで介護施設に行った時です。不安そうな利用者様に対して介護士が優しく声を掛けたことで、その利用者様は、安心した表情でその後のレクリエーションを笑顔で取り組まれていました。この時、「利用者様の心に寄り添って笑顔に変えられる介護士ってすごい！！」と感じた事が介護職を目指したきっかけです。

その後、三重介護福祉専門学校で2年間介護について学んでから、あけあい会に就職しました。

就職してからは、「利用者様の不安を解消して笑顔に変えたい」「なにか利用者様の力になりたい」と考えながら必死に仕事をしていましたが、なかなか上手くいかないことばかりでした。利用者様から「あんたは嫌いや」と言われショックを受けたこともありましたが、しかし、最近は私のことを嫌いと言っていた利用者様から「松本さん来てくれたんやな。あんたが来てくれると嬉しいわ」と言って頂いています。一所懸命に頑張れば利用者様は見ていてくれるんだと実感した瞬間でした。利用者様あつての介護士なので、その利用者様との信頼関係が築けることは非常に嬉しいことであり、介護士自身のモチベーションアップに繋がると思っています。私は利用者様が大好きですので、利用者様を「笑顔」に変えられた時、私も「笑顔」です。

その笑顔をいつまでも大切にするためにも、去年は法人内の介護実技コンテストでは3位、三重県介護福祉士協会主催のみえ介護技術コンテストでは優勝と、日々介護の技術・知識・経験をさらに高め、利用者様から愛される介護士を目指し、これからも努力していきたいです。